

“グアテマラ”

異文化からのメッセージ



5月27日（金）南大津公民館で、国際理解出前講座を実施し、22名が参加しました。講師は、元教師で山田公民館館長の照本忠光さんです。照本さんはJICAのシニアボランティアとして、グアテマラで2年間日本人学校の校長を務めました。グアテマラは中米の国で、コーヒーの産地として有名です。

自己紹介の後に、私たちの身の回りのスペイン語を教えてもらいました。日本車のシーマは *cima* (=頂上)、サッカーチームのセレッソは *cerezo* (=桜) が紹介されると、参加者からは「おー」という声が上がりました。

グアテマラは赤道から近いですが、首都であるグアテマラシティは高地にあるため、一年中半袖で過ごせるほど快適だそうです。また、世界遺産や美しい湖、映画スターウォーズのロケ地になつた場所など、たくさんの写真とともに紹介されました。

貧困が社会問題となっており、家業の手伝いなどで学校に通うことができない子どもたちが多くいます。小学校を卒業できるのは1割程度だそうです。治安が悪く、銃撃事件や殺人のニュースなどは日常茶飯事のようですが、人々は明るく幸福度も日本より高いそうです。

日本とグアテマラは文化が大きく違います。でも「あいさつをきちんとすること」「おもいやりを持って人と接すること」は日本でもグアテマラでも同じく大切です。違っているから面白い！と思えると素敵だと締めくくられました。

